

## プログラムNo. 5 : 「天水稻栽培・種子生産及び品種選定技術」コース プログラム概要票

## 1. 基本情報

\*講師や諸般の都合により、プログラム内容が変更になることもあります。予めご了承願います。

1) 研修コース名 :	天水稻栽培・種子生産及び品種選定技術
2) 担当者名 :	須田 真依子 (研修コース委託先業務総括 : 浦山氏)
3) 期間 (日数) :	8月26日 (月) ~8月30日 (金) 5日間
4) 定員 :	受入人数4人程度
5) 言語 :	英語 (実施内容を英語で理解できること) (※目安 TOEIC 550~600点程度)
6) 主な対象学生 :	生物学系、農学系、開発学 (但し、農業に係るフィールドを基礎) 関係の学部3年生以上及び大学院生が望ましい。
7) 研修員の出身国 :	ウガンダ、ガーナ、ギニア、ザンビア、シエラレオネ、タンザニア、マラウイ

## 2. コンテンツ

本プログラムの目的	アフリカのネリカ稲 (NERICA) を含む天水型稲の栽培、種子生産、品種選定について学び、コメ生産を通じてアジア・アフリカ地域の貧困問題、食糧の安定供給について考えます。
-----------	--

## 日程表

No	日付	曜日	時間	テーマ	形式	概要
1	2024/8/26	月	09:15-09:30	プログラムオリエンテーション		関係者紹介、プログラム説明、諸連絡等
			09:30-12:15	品種比較実験の出穂期調査	実習	稲10品種の出穂期における特性調査
			13:30-16:00	稲の出穂期調査	実習	個別実験の出穂期における調査
2	2024/8/27	火	09:30-12:15	アフリカの稲作	実習	アフリカの稲と稲作の現況、および食糧問題を検討
			13:30-16:00	品種選定実験及び純系系統種子等の収穫	講義	品種の選定方法と純系系統種子の収穫
3	2024/8/28	水	09:30-12:15	稲の収量と収量構成要素 1	講義	稲の収量調査方法と収量構成要素について
			13:30-16:00	品種選定実験及び純系系統種子等の収穫	講義	品種の選定方法と純系系統種子の収穫
			16:15-16:45	中間レビュー		中間時プログラムの振り返り (受講者から所感、質疑含め)。
4	2024/8/29	木	09:30-12:15	稲の収量と収量構成要素 2	講義	稲の収量と収量構成要素はいつ、どのように決まるか
			13:30-16:00	原原種種子抜き取り調査	実習	純系系統種子、原原種種子圃場での異株の抜き取り調査
5	2024/8/30	金	09:30-12:15	日本の稲育種	講義	日本の稲の品種改良について
			13:30-16:00	個別実験 : 収量調査	実習	個別実験収量調査の実際
			16:00-16:30	プログラムの振り返り		国際協力理解講座のプログラムを体験した結果を発表

## 3. 留意事項

- ・上記日程表は現時点での案であり、今後変更の可能性がります。
- ・実験・実習がありますので、身軽で汚れても良い服装と靴を準備してください。
- ・開始時間には、時間厳守で集合してください。終了時間は、作業の関係で遅れることがあります。

## 4. 学生さんへ一言

- ・諸国を代表する研修員とのコミュニケーションを積極的に取っていただき、楽しく実りあるプログラムであると同時に、途上国の技術者等への指導業務について、知っていただく機会にしたいと思います。
- ・英語でのコミュニケーションになりますが、積極的な参加をお願いします。
- ・自然科学系の内容ですが、食糧生産に関心の高い社会学系の方の応募も受け付けます。

## 5. その他

- ・参加者には、事前に研修員各国の概要 (インセプションレポートなど) に目を通していただければと思います。各国の現状 (気候条件や畑作物の作付状況等) や研修員が抱える課題を理解し、関心をもった内容について、講座中はぜひ研修員と積極的に意見交換をしてみてください。全ての国ではなく、1~2か国に絞ってでも構いません。
- ・実験・実習は畑地が主ですが、小規模な水田での作業も若干あります。